

1. 開講科目紹介

各科目の詳細については本学ホームページ <http://www.nfu.ne.jp/> においてご覧になれます。

(1) テキスト科目および放送授業・テキスト併修科目

科目名	経営学	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	関口和雄、張淑梅、守田峰子、柳在相		

【概要】 企業経営の基礎を理解するには、組織マネジメントという視点にたつて、経営目標の達成に向けた効率的なマネジメントのプロセスをおさえるとともに、変貌する経営環境に適応していくプロセスにも留意することである。企業と環境、組織の構造と過程、組織の変革といった企業経営の中心課題をみとうえて、医療・福祉、環境ビジネスなどといった分野のマネジメントの問題を認識していく枠組みを学ぶ。さらに、21世紀の産業経営の将来ビジョンとして示されている社会貢献型経営についても検討し、企業経営のあり方についても考察する。

科目名	経済学	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	上田和宏、谷地宣亮、渡邊敏生、館健太郎		

【概要】 一般の営利企業のみならず医療・福祉施設の行動を理解するには、希少な資源の効率的配分を研究対象とする経済学の知識が不可欠である。また地域開発にとっても経済学が有用な情報を与えることはいうまでもない。本講では、経済理論を理論としてだけ学ぶのではなく、企業ならびに家計の行動についての具体的なケース分析を通して、経済学の基本的な考え方を習得する。また、社会人学生のもつ実践的な要求にも応えることを考慮し、医療・福祉施設といった非営利組織についても詳しくとりあげる。

科目名	会計学	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	新谷司		

【概要】 「簿記」では、個人商店の経営活動を計数的に把握する方法を習得するが、本講「会計学」では、株式会社の経営活動を計数的に把握する方法を習得する。最初に簿記・会計の基礎事項を理解し、諸取引の処理方法を習得する。次に株式会社における株式発行、利益処分などの処理方法を理解し、株式会社の決算、財務諸表作成について学習する。さらには、本支店会計及び複数仕訳帳制などについて学ぶ。

科目名	開発学概論	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	斎藤千宏、穂坂光彦		

【概要】 近年、国際社会で主流となりつつある人間中心の発展＝社会発展の考え方に依拠して、国際開発問題について学ぶ。まず、福祉概念および貧困概念についての考察を深めた後、環境との調和およびジェンダー平等という制約のなかで、適正な経済成長を図る方策について考える。そうした発展は政府や企業のみならず、NGO、地域住民組織等、さまざまな担い手が多角的に参加し、しかもそれらが国境を容易に越えて交流している。こうした世界の現実についての認識を深める。

科目名	法学	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	大竹秀樹		

【概要】 社会生活における人間の行為に一定の規準を設定することによって、社会生活に秩序をもたらす社会の存続に必要な条件を確立する法の機能について論じる。社会規範の一つである法と社会の関わり、法と国家の関係を説明し、制定法規の内容や機能、基本的な法としての公法、私法、社会法そしてそこでの権利とその法的性格について述べる。さらに、法の基本的概念を理解するために、憲法およびその基本原理と基本的人権、行政法における地方自治、民法を中心に市民生活と法などについて具体的に説明する。

科目名	社会福祉学	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	小椋喜一郎		

【概要】 これまで私達は社会福祉をどのように考えてきたのだろうか。人間の生の営みは、過去から受け継がれ現在に至っている。しかし、我々は過去の歴史、現在の社会福祉の諸制度も知らないままに漠然と社会福祉を考えてはいはしないだろうか。社会福祉とは優れて実践的な学問である。過去・現在・未来を改めて見つめ直し、未来の福祉はどうあるべきか具体的な事例や演習を通して考えていきたい。

科目名	民法	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	近藤充代		
<p>【概要】 民法は、市民間の財産関係、取引関係、身分関係を規律している法律であるが、本講では市民生活にとって身近である消費者問題を題材に、現代社会における民法の役割の理解と法的な思考方法の修得をめざしたい。具体的には、消費者被害の救済という観点から、民法総則（行為能力制度、意思表示等）、契約法の基礎（契約の成立、効力、解除等）を学習し、さらには訪問販売法、割賦販売法などの民法特別法についても理解を深めたい。</p>			

科目名	社会学	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	小椋喜一郎		
<p>【概要】 社会学は、生きた人間の生活・共同生活といった人間の社会的行為と関連づけながら、社会組織の法則・歴史などを明らかにしようとする学問である。社会学の社会福祉実践に対する貢献は近年ますます大きくなっている。貧困・差別といった古くからある社会問題、いじめや虐待といった新たな問題、これらは社会学が対象とする人間関係とその結果によってもたらされている。社会学を学ぶことによって社会福祉の総合的な解決視点を身につけることを本講で目指していく。</p>			

科目名	簿記	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	新谷司		
<p>【概要】 簿記とは、企業の経営活動を計数的に記録し、それを集計して企業の経営成績や財政状態を知るための計算処理記述である。最初に、簿記の基本的仕組みを理解する。次いで、商品売買業を営む個人商店における諸取引の仕訳と一連の決算手続きについて習得する。仕訳例や設例を利用して簿記知識の効率的習得を目指す。</p>			

科目名	日本史	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	福岡猛志、曲田浩和		
<p>【概要】 これまで中学校・高等学校の教科書などで学んできた、わたしたちの日本史像は、最近大きく書き換えられようとしている。飛躍的に増大した発掘調査を背景とした考古学の発展、主として近世・近代の地域史研究の中で確認された新たな史料（古文書）に基づく新しい問題提起、これまでとは異なる視点での既存史料の読み直しなどが進んでいるからである。この新しい到達点を踏まえた日本史像を、受講生諸君とともに追及してみたい。通史的叙述を柱としつつ、視点・論点についての解説を加えたテキスト（参考文献の紹介を含む）を主要教材とするが、それを補強する多様な教材を用意する。</p>			

科目名	心理学	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	竹下隆		
<p>【概要】 心理学は人間そのものの全体の理解をめざす学問。はじめ“人の心”を理解しようとした時代から、現在では“人の行動”を科学する時代になった。幅広い“行動の科学”としての心理学から心の仕組みや働きの方則性を知る基礎を示し、人間追求の意義を明らかにしながら次の4点の理解を深めさせる。①人間の心理学的理解、②人間の成長・発達と心理的理解、③測定や分析の手法を用いた人間理解のための心理学理論と技法、④行動療法など心理的援助技法の概要。</p>			

科目名	英語コミュニケーション	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	内野信幸		
<p>【備考】 この科目では、インターネット上で配信される音声ファイルを用いたヒアリング学習を行うため、パソコンに音源機能（スピーカーなど）が必要です。</p>			
<p>【概要】 英語の力を確定なものにするためには中・高で学んだことをやり直してみることだ。可能な限り簡潔な英文で既習の学習事項を復習して、以下のような力を身につけてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つづりと発音の関係を知る。 ・英文の法則性を体系的にとらえ直す。 ・文頭から読み下す方法で聞き取り能力の向上。 ・英文エッセイで自己表現能力の向上。 			

科目名	医学概論	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	田原孝		
<p>【概要】 医療が福祉化し福祉が医療化する現在、医療—福祉の境界が消失し、それらを分離することの限界が指摘されている。本講義では、医療や福祉におけるマイクロ～マクロのダイナミクスを統一して理解するために福祉の概念の再構築を行ない、それに立脚して、医療、医学、福祉の構造、位置づけ、それらの関係を論ずる。この基礎となる枠組みは「カオス・複雑系理論」と「臨床経験」であり、これは世界初の取り組みでもある。</p>			

科目名	生物学	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	水野暁子		
<p>【概要】 生物の基本構造である細胞膜を中心として、生物らしい構造と機能について理解する。特に、人間とは違った構造を持つ植物について、成長、水や養分の吸収、情報伝達などの生理的機能と、細胞や組織の構造との関わりについて詳しく学習する。植物がどのような構造と機能を基にして、環境に対する適応や反応を行っているかを認識することで、酸性雨などの環境問題について考えることができるような、基礎的な力をつける。</p>			

科目名	コンピュータリテラシー	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	森本正昭		
<p>【概要】 通信教育部ではパソコンとインターネットを受講や課題提出の手段として使っていくので、それらについての基礎的な理解と共通の認識が必要である。そのためよく使うコンピュータ用語についての正しい理解を求める。さらに情報とは何か、情報の果たす役割、情報の表現、処理の方法などについての基礎的理解が求められる。またこれからの社会における情報システムの役割と課題、インターネットの仕組みと活用およびセキュリティについて、重点的に解説する。</p>			

科目名	インターネット演習	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	放送授業・テキスト併修科目
担当教員	佐藤慎一		
<p>【備考】 この科目は、Windows パソコンのみに対応しています。ご使用のパソコンの OS に応じて、使用する教材や学習に必要なソフトウェアが異なりますので、下表でご確認ください。なお、CD-ROM 教材を使用する場合は、パソコンに CD-ROM 再生装置が必要です。</p>			

	パソコンの OS	使用する教材	学習に必要なソフトウェア
①	Microsoft Windows XP	インターネットで配信される教材をダウンロードして使用	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Word 2002 以上 Microsoft Excel 2002 以上 Acrobat Reader 5.0 以上、または Adobe Reader 6.0 以上（インターネット上から無料でダウンロードすることができます） Web ブラウザ（Microsoft Internet Explorer 5 以降（5.5 SP1 は除く）、または Netscape Navigator 4.76 以降）
②	Microsoft Windows 98, Me, 2000, Windows NT4.0 日本語版のいずれか	CD-ROM 教材とテキスト教材を使用	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Word 97・98・2000 のいずれか Microsoft Excel 97・2000 のいずれか <p>ただし、左記の OS のパソコンに、Microsoft Word 2002 以上や Excel 2002 以上をインストールしている場合、当該講の学習は上記①の教材を使用して行います。この際、①と同様の Acrobat Reader または Adobe Reader と Web ブラウザが必要です。</p>

○使用するパソコンの動作環境

①インターネット配信教材を使用する場合の動作環境

OS：Microsoft Windows XP、CPU：クロック速度 300 MHz 以上（Pentium/Celeron 系列、AMD ファミリー）、メモリ：128 MB 以上、モニタ：画面解像度 Super VGA（800×600）以上、その他：音源機能（スピーカー等）

②CD-ROM 教材を使用する場合の動作環境

OS：Microsoft Windows 98, Me, 2000, Windows NT 4.0 日本語版、CPU：Pentium 150 MHz 以上（166 MHz 以上を推奨）、メモリ：32MB 以上、CD-ROM ドライブ（＝CD-ROM 再生装置）：4 倍速以上、モニタ：画面解像度 640×480 以上、その他：音源機能（スピーカー等）

※上記のパソコン動作環境は、この条件に該当するすべての機種での動作を保証するものではありません。

※文中の製品名、会社名は、すべて関係会社の商標または登録商標です。

【概要】 社会にインターネットが普及するにつれて、さまざまなコンテンツを交換・流通させることが日常的に可能となってきた。インターネット社会では、今までの常識と異なる表現によるコミュニケーションが存在し、流通速度もきわめて速いため、その社会的影響がきわめて大きい。さらに、公序良俗上不適切な表現、知的所有権に対する無理解など解決すべき問題が山積している。こうした問題点を押さえながら、ハイパーテキストによる情報蓄積、検索システムに生かすことができるような文書管理法の紹介と演習を実施する。基礎的な内容として、日本語の入力、Microsoft Word・Excel の利用、WWW ブラウザーの利用、データのダウンロードなどを取り上げる。

科目名	ニュービジネスと産業政策	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	放送授業・テキスト併修科目
担当教員	丸山優		
【概要】 新産業創出は今日の日本にとって戦略的意義をもつ。現に雇用確保の面はもとより環境保全や「生活の質」向上の面でも大きな期待が寄せられている。と同時に、「市場の失敗」の典型的事例の一つをなす。現に民間に任せるだけではなかなか進まず、国や地方自治体による介入、つまり産業政策が不可欠になっている。本講義では、ベンチャービジネス、ニュービジネスの具体的事例を発掘紹介して、発展の論理を明らかにする。また、産業政策の展開を跡づけ、産官学連携のあるべき姿を探求する。			

科目名	経営組織と戦略	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	張淑梅		
【概要】 本テキストは、組織とは何か、優れた組織の動き方、特徴を、組織論と経営戦略論の視点から学ぶことを目的とする。まず現代社会の基礎的構成要素としての組織の行動や構造、変化のメカニズムを説明する。次に組織を環境との相互作用をもつオープンシステムと認識し、激動する環境の変化に対応するための経営戦略、組織変革、さらに情報革命のもとで展開されつつある新しい組織と戦略について事例を交えて論じていく。			

科目名	マーケティング	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	小木紀親		
【概要】 マーケティングとは、企業による創造的かつ独占的な市場獲得戦略である。講義では、そうした企業の様々なマーケティング戦略や市場における多様なマーケティングの現象を、とりわけ、製品戦略、価格戦略、プロモーション戦略、流通チャネル戦略などとの絡みで論じていく。また、基本的なスタンスとしては、現代市場の現実的側面にスポットを当てつつ、生活者の視点からマーケティング現象をとらえることを意識したい。			

科目名	財務会計	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	新谷司		
【概要】 財務会計とは、会計基準や会計慣行に規制され、企業の財政状態や経営成績に関する情報を作成し外部の利害関係者に報告することを意味する。「会計学」の発展科目として位置づけられる本講「財務会計」では、日本の会計制度に基づいて、会計規制の体系、財務諸表の様式とその意義、固定資産会計、繰延資産会計、引当金会計、費用・収益の認識基準、財務諸表の監査、連結財務諸表、ディスクロージャーの拡大化などを取り上げる。			

科目名	ベンチャー経営	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	柳在相		
【概要】 まずは日本におけるベンチャー企業を取り巻く経営環境に着目し、とりわけアメリカとの比較を通して、いかにしてより多くのニュービジネスを生み出すかについての議論を展開する。そして、セコムやヤマト運輸などのような目覚ましい成長をおさめているベンチャー企業に焦点をあて、その創業から今までの成長プロセスを詳細に考察していく。これらのベンチャー企業の成長プロセスにはどのような阻害要因が存在し、それぞれの阻害要因をいかにして克服することができたかに注目することによって、ベンチャー企業の経営（企業家精神及び戦略的発想、事業仕組の構築、組織デザインなど）についての理解を深めていきたい。			

科目名	人的資源管理	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	放送授業・テキスト併修科目
担当教員	関口和雄		
【概要】 企業経営にあっては、〈人づくり〉を経営の基本に位置づけ、人的資源のパワーアップと有効活用をはかることを重点施策として取り組んできた。病院や福祉分野のヒューマン・サービス組織においても、人的資源のマネジメントが最も重要な問題だという認識となっている。人的資源管理システムの枠組みを学んだうえで、〈働くことの意味〉〈仕事への動機づけ〉〈仕事へのコミットメント〉といった中心にある問題を考察し、さらに上司や同僚との対人関係をふくめた職場マネジメントについても学んでいく。			

科目名	産業心理学	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	竹下隆		
<p>【概要】 激しく変わる現代社会の様相は一つの時代の終わりを示している。産業革命以来の企業社会成立の基本が限界に来ているからだ。エネルギーと地球の限界である。産業心理学は、この限界にかかわる産業構造の理解と人間行動の分析、そして新しい未来社会設計条件の人間の役割を検証する学である。情報化社会を始め高齢化社会、異文化共生、女性の就業意欲、地球環境保全など未来図対応の多くの課題を、企業組織と人間の関係で捉える必要性はますます現代企業社会に迫っている。地球の限界を配慮した本当の福祉社会未来図設計と一人一人のライフスタイルの展望をトピカルに捉え、人は何のために生き、何のために働くかの一角を追求しよう。</p>			

科目名	企業ファイナンス	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	津森信也		
<p>【概要】 企業ファイナンスは企業経営のみならずすべての企業人にとり必須の知識であることは欧米においては常識であるが、日本でもようやく認識されるに至っている。また、その基本は営利経営のみならず非営利経営においても特に変わるものではない。</p> <p>組織の運営には資金が不可欠であり、資金が不足すれば最終的には組織は成立し得ない。</p> <p>資金不足は経営の問題でもあるから企業ファイナンスは企業経営と多くの点において共通する。</p> <p>そこで、企業活動における資金という観点から基本を理解し、次第に現代ファイナンス理論の実務面への応用を中心に進めることになる。理論に偏ることはない。</p> <p>内容的には、資金の調達運用の実務知識、企業のリスク管理、キャッシュフローとその割引現在価値、デリバティブ等を理解し、価値創造経営と企業分析手法を中心に応用編を学ぶ。</p>			

科目名	医療福祉ビジネス	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	後藤芳一		
<p>【概要】 社会構造や消費者意識の変化が進み、医療・福祉事業をめぐるニーズは、かつてない早さで変化している。国も、財政制約の下でサービスの質を維持するよう模索している。これを受け、制度の改革が急速に進んでいる。一方、従来の医療・福祉事業は、公的制度のもとで収入が保障され、外的環境に受け身で対応する傾向があった。今後は、固有の環境を踏まえた経営のあり方が事業の存続を決める。それには、サービス提供者として受け手から支持されるよう、経営を組み立てる必要がある。本講は、医療・福祉サービスの専門家が、自ら状況を判断して進路を構築できるように、経営の基本的な枠組を整理する。</p>			

科目名	医療福祉情報ネットワーク	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	田原孝		
<p>【備考】 本科目の履修登録の際は、本通信教育部ホームページ http://www.nfu.ne.jp/ にて履修条件をご確認ください。</p> <p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキスト・学習指導書などの教材は一切使用しない。また、テキストの指定も行わない。 2. 受講生が、自らの興味、問題意識にもとづいて自らテーマを設定する。それについて自ら調べ、考えてレポートを作成し、提出する。 3. 担当教員がレポートを添削する。また、必要に応じて資料や文献を示し受講生に返却する。 4. 3. にもとづいて、受講生は再度レポートを作成し、提出する。これを担当教員が3. と同じく添削する。 5. 科目修了試験は、受講生個人を対象とする。受講生に共通した問題意識や基盤となる考えを担当教員が勧奨し、それにもとづいた試験問題を出題する。試験はレポート形式で行う。 			

科目名	環境ビジネス	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	向井征二		
<p>【概要】 21世紀は環境の世紀といわれるが、営利・非営利を問わず、いかなる事業体にとっても環境は、それを抜きにしては経営戦略が成り立たない程の最も重要なキーワードになっている。利害関係者への経営情報開示とコミュニケーション、環境配慮型製品設計、グリーン調達、環境汚染防止への企業の社会的責任など、環境を軸に事業展開する場合に求められる諸要素を、ISO規格など環境関連の国際的規範を交えて検討するとともに、内外の環境ビジネスの事例を研究する。</p>			

科目名	労働法	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	野村晃		
<p>【概要】 産業構造の変化に伴って必然化した労働力供給構造の変動・就業形態の多様化、労働者意識の変化などに対応して、80年代半ば以降多数の労働法制が改編・創設された。労働関係の開始から終了に至るまでのさまざまな労働法上の問題を、労働基準法に焦点をあて考察する。その際、「雇用社会」を視座に、雇用保障領域の新たな法制をも取り入れ、影響力ある判例を紹介し、憲法・民法とのかかわり、社会保障法との接点を意識した講義をする。</p>			

科目名	コミュニティマネジメント	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	生江明		
<p>【概要】 この科目では、内外の様々なコミュニティマネジメントの事例を通して、コミュニティとは何であるのか、そしてそのマネジメントとはいかにあるべきなのかを考察する。社会的存在である人間たちが、そのより良き人生の実現のために自然と社会資源をいかに組織化し、豊饒化していくかというプロセスは、行政サービスの客体としての人間ではなく、コミュニティのマネジメント主体としての人間たちをこれらの事例の中に、そしてその社会哲学の中に見出すことになるだろう。</p>			

科目名	NPO 論	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	雨森孝悦		
<p>【概要】 従来、政府機関や企業の陰に隠れ、マイナーな存在でしかなかった民間非営利組織の独自の性格と社会的役割について考える。中心的な問題関心は、なぜ民間非営利組織が必要なのかということであり、高度成長期以後の日本の社会運営のあり方、とくに公益性の判断や担い手という点に着目する。公益法人等の他、NPO といわれる特定非営利活動法人や一般の市民団体について、企業や行政との関係、国際比較等の視点から考察する。</p>			

科目名	地域福祉論	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	野口定久		
<p>【概要】 最近の地域福祉の諸課題としてクローズアップされている、介護保険制度と介護予防・地域自立生活支援等の地域福祉システムづくり、社会福祉法と地域福祉計画等を、現代の生活問題との関連でとりあげながら、その問題解決のための考え方や新たな開発の方法を提示することに努める。とくに、地方分権化・社会サービス等の資源供給・コミュニティワーク・住民参加の視点から、今日の社会変動（経済・地域社会・家族関係）を視野に入れた地域福祉の体系と展開の方法を検討する。</p>			

科目名	地方行財政	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	齋藤友之		
<p>【概要】 地方行財政は、わたしたちのもっとも身近な政府である自治体を運営していく上で、最も重要な制度装置である。そこで、次の4つの観点からの考察を通じて、「われわれの政府」づくりを考えていく。第1に、国と地方の政府間行財政関係について、類型モデルを参考にしつつ、諸国間での制度比較を行い、わが国の地方自治が世界の中で比類のないものであることを明らかにする。第2に、地方分権改革によって生まれた地方自治制度の基本構造を、旧制度との相違を踏まえて解説することで、団体自治が向上されたことを確認していく。第3に、地方行財政のテキストにおいて、従来見落とされがちな財政分析の視点および政策過程という財政学と行政学の領域を加えることで、総合的な理解を促していく。そして、第4に、「われわれの政府」づくりにとって不可欠な参加と協働を前提に、地域社会および住民と自治体との関係ならびに自治体の民主統制のあり方を明らかにする。</p>			

科目名	児童福祉論	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	加藤俊二		
<p>【概要】 少子高齢化社会のなかで、エンゼルプランの策定、児童福祉法の改正など従来の制度・政策では把握しきれないほど児童と家庭を取り巻く環境は変化してきている。このような社会的背景のなかで、現代社会における児童福祉の理念はどうあるべきか考えていくとともに、一方で児童虐待の増加など現代社会のひずみの中におかれている児童の現状などの理解を深める。また、児童への相談援助活動の実際を通じて、児童福祉ニーズの把握に努め、具体的な児童福祉の在り方を考えていく。</p>			

科 目 名	開発協力	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単 位 数	2単位	科 目 の 種 類	テキスト科目
担 当 教 員	雨森孝悦		
<p>【概要】 開発援助が本格的に開始されてから50年がたった現在、これまでの援助を振り返るとともに、援助の現状および21世紀における開発協力のあり方について学習するための素材を提供する。開発協力の仕組みや実態はかなり複雑なので、基本をしっかり押さえること、さらに知識を深めるための的を射た問いを発すること、の2点に留意する。開発学概論と内容的な重複をできるだけ避けつつ、初心者にもわかりやすい科目とする。</p>			

科 目 名	国際福祉	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単 位 数	2単位	科 目 の 種 類	テキスト科目
担 当 教 員	萩原康生		
<p>【概要】 近年、グローバリゼーションという言葉が頻繁に使われる。これは、従来の国民国家の枠を超えて人や物や情報が自由自在に世界を駆け巡る状況を表す言葉である。政策としての社会福祉及び実践としての社会福祉も、このグローバリゼーションの流れの中で考えられなければならない状況となっている。本科目では、このグローバリゼーションをキー・ワードとして、その背景及び社会福祉問題への影響を中心に学習する。</p>			

科 目 名	環境と開発	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単 位 数	4単位	科 目 の 種 類	放送授業・テキスト併修科目
担 当 教 員	斎藤千宏		
<p>【概要】 1990年代は、国際社会で持続可能な発展（sustainable development）が唱導された10年間であった。本科目では、地球温暖化防止、生物多様性の保全という21世紀において決定的に重要になる二つの課題に対して、各国政府や国連、多国籍企業、地方自治体、NGO・NPOがどのような取り組みをしているのか、具体的な事例を通して考察を進める。また途上国民衆の視点から、持続可能な発展に向けての市場メカニズムの活用が、どのように効果的に機能するか（しないのか）についての分析を加える。</p>			

科 目 名	地域環境計画	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単 位 数	4単位	科 目 の 種 類	テキスト科目
担 当 教 員	阿蘇裕矢		
<p>【概要】 人間の生活と環境について考察し、その調和を図っていくためのマネジメント方策について論ずる。特に、コミュニティレベルから、都市・農山村、地域空間レベルにおける環境問題に着目し、主としてこれまでに行われてきた環境計画の方法を学ぶとともに、人間にとって求められる環境のあり方について歴史的な考察を行う。さらに、空間のレベルや環境の特性に合わせた環境計画の手法、施策、政策等について論じ、これからの環境計画のめざすべき方向、主体間の連携や合意形成等のあり方について考察する。</p>			

科 目 名	福祉社会システム論	科 目 群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単 位 数	4単位	科 目 の 種 類	テキスト科目
担 当 教 員	訓覇法子		
<p>【概要】 講義の目的とレベルは二つである。1) 世界先進国における社会政策の国別による分類（モデル）を軸にして、国際比較研究的視点から日本の福祉社会システムを社会的に考察するとともに、方法論的に分析する。2) 高齢者人口の増加により、世界の先進国が高齢者社会に直面する現在、福祉国家・社会システム分析において介護国家・介護社会というあらたな概念が必要とされる。したがって、介護社会としての日本の社会システムの現状分析を課題として、国際比較研究的視点から有意義と思われる概念や理論の考察を行なう。</p>			

科 目 名	社会保障論	科 目 群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単 位 数	4単位	科 目 の 種 類	テキスト科目
担 当 教 員	李忻		
<p>【概要】 21世紀を迎えた今、社会保障は大きな転換点にたっている。低成長経済への移行、少子高齢化による人口の減少をいう大きな変化の中で、社会保障が国民の生活を支える仕組み、社会保障の機能と役割について学んでいく。具体的には、社会保障の理念、概念、範囲、役割、社会保障を構成する各制度の目的、対象、給付内容及び財源の概要などについて学び、理解を深める。さらに、年金制度・医療保険制度・介護保険制度などの改革と現状、民間保険による公的保障の補完、社会保障運営の体制とマンパワーについても検討し、理解を深める。</p>			

科目名	公的扶助論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	明星智美		

【概要】 人たるにふさわしい生活が困難になった場合の最終的な公的救済が公的扶助である。この講義では、わが国の公的扶助制度である生活保護法をとりあげ、目的と原理・原則、制度のしくみを学習する。日本国憲法と関連して生活保護法が目的とする「最低生活保障」と「自立助長」の意味を学び、本来法が保障している、保護を必要とする人びとの「権利」についての理解を深める。社会福祉基礎構造改革の流れの中で生活保護法「改正」論議が進められている今、改めて「健康で文化的な最低限度の生活」の意味を問い、この分野における権利擁護のセンスが磨かれることを期待する。

科目名	福祉計画論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	放送授業・テキスト併修科目
担当教員	高橋絃一		

【概要】 少子高齢化という急速な人口構造の変化は、21世紀の生活設計に大きな影響を与えている。国も地方自治体も財政赤字にあえいでいる。この状況のもとで、福祉資源を適正に効率的に使用するためには、「福祉計画」が欠かせない。「福祉計画」には、老人保健福祉計画・障害者プラン、エンゼルプラン、介護保険事業計画がある。「福祉計画」には、国としての計画および都道府県・市区町村の計画があり相互に密接に連動している。「福祉計画」策定の際の最初の作業は、要介護高齢者数、障害者数、児童数を予測し、必要な保健・医療・福祉需要を見込むことである。次に、この需要に対して、地域における公的サービス・NPO・一般企業などによる供給量を見込む必要がある。この他、「福祉計画」策定への住民・職員参加の問題、財政問題、上位計画との調整、「福祉計画」実施過程の点検、「福祉計画」実施後の検証と課題、次期「福祉計画」策定などについても学習する。

科目名	障害者福祉論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	吉田直美		

【概要】 障害の概念や障害観・障害者観の社会的・歴史的背景を踏まえながら、その変遷を概観し、障害者福祉の理念や基本的な考え方について学ぶ。対象としての「障害者」の拡大、法体系の変遷と制度改革による障害者福祉施策の変遷の根底に流れる「障害（障害者）理解」の変化と、それに基づく具体的な福祉サービスの現状・リハビリテーション・社会参加、雇用や教育を含めた関連施策、そしてそういったサービス提供を担う組織や専門職の援助活動について論じる。また、近年の障害者福祉の国際動向・わが国の障害者運動（当事者運動）の広がりにも目をむけ、障害者福祉の今後のあり方について検討する。

科目名	医療経済学	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	放送授業・テキスト併修科目
担当教員	柿原浩明		

【概要】 少子・高齢社会日本は、保健医療システムの転換期にある。医療政策の観点からすると、21世紀にむかい医療保険財政が厳しさをくわえるなかで「効率」かつ「公正」な医療供給システムを、どのようにして構築していくかが問われている。また、医療の従事者や経営者の視点でみるならば、医療保険システムの変革期は新たなビジネス・チャンスをつかむ好機でもある。本講では、希少資源の効率的な配分を重視する経済学の視点から、医療施設の供給行動、家計の医療需要行動、および保険者の役割について解説・評価する。また、「効率」かつ「公正」な医療サービス供給を実現するのに必要な政策について論じる。

科目名	医療政策論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	李忻		

【概要】 わが国の医療制度は高齢社会を迎えて、大きな転換期にある。「いつでも、どこでも、誰でもが安心して医療をうけられる」という目標の実現が、高齢化と低成長経済の下で困難となっているからである。医療サービス自体もかつての感染症時代から成人病・生活習慣病へと推移する中で、公平と効率の観点から医療制度に関わる「人」「物」「金」のすべてにおいて、その改革が迫られている。臓器移植に象徴される高度先進医療への大きな期待とともに、高齢者の長期ケアのための医療と福祉を接合した介護保険制度の創設など、患者の自己決定やQOL（生活の質）の向上などの新しい動きをふまえて、医療政策のあり方は国民の健康の維持と増進に大きく影響している。本講義では、戦後の医療政策の展開と今後の課題・方向について学んでいく。

科目名	医療福祉経営論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	野口一重		

【概要】 将来、医療福祉関係の指導・管理的役割に就くことを目標とし、医療福祉に関する広範な知識と管理的視野を育成するために、施設や組織の経営および制度の運営についての理論と現状について学ぶ。具体的には、1. 我が国の制度について、各種の法律の下に存在する公的保険制度・DRG/PPS・DPC等の先進的な知識を含む様々な報酬制度、2. 施設については各種経営主体と形態・施設内外を巡る諸問題とマネジメントの基本的な方法などである。また、各種用語の定義や国際医療福祉比較などの基本的知識についても学ぶ。

科目名	非営利マーケティング論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	井上崇通		
<p>【概要】 非営利マーケティングとは、主として非営利組織に一般企業のマーケティングの戦略および手法の視点を取り入れ、各非営利組織独自のマネジメント活動に役立てることを意図するものである。しかし、非営利組織は一般企業とは当然異なるものであり、非営利組織のなかでもその特性などによりマーケティングの戦略および手法の取り扱いは異なる。特に、講義では、そうした点に鑑み、各非営利組織の分類から始め、各々に適するマーケティングの戦略および手法、非営利組織を巡る動向を論じていく。</p>			

科目名	非営利組織会計	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	新谷司		
<p>【概要】 現代社会では営利企業とは異なった民間非営利領域での事業活動が重要となっているが、そこでの管理や会計が十分に確立されているわけではない。企業会計は営利事業の経営成績を測定することを主たる課題としてきたが、このような企業会計の測定とディスクロージャーを土台としながら、非営利事業の特質を反映する会計の構造と特徴、およびそのあり方を、社会福祉法人会計や協同組合会計などを事例として論じる。</p>			

科目名	精神保健福祉論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	6単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	2006年度赴任予定者		
<p>【概要】 「精神保健福祉」の範囲は広い。子どもから大人までのメンタルヘルスの問題から、精神疾患による障害があり福祉的サービスを必要とする人々（精神障害者）の生活支援までを含んでいる。その両方を視野に入れたところに精神科ソーシャルワーカーの役割と実践の課題がある。一方、国家資格化（名称は精神保健福祉士）されたねらいは、日本固有の歴史（精神科における長期入院、福祉施策の遅れ等）が生み出した課題（退院促進と地域生活支援体制の整備）の解決にあったことも事実である。今、国の施策の方向も障害者福祉の統合化に進み始めている。精神障害者の地域生活支援を進めることは、子どもから大人まで、安心して生活できる地域社会をつくることと重なり合うことを、学習の過程でつかめるように期待している。</p>			

科目名	精神医学（2007年度開講）	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	2007年度赴任予定者		
<p>【概要】 精神医学とは精神機能とその病態（障害）について研究する学問です。しかし患者さんを理解するには、狭い意味の医学すなわち生物学的精神医学視点のほかに、心理学的な側面すなわち精神病理学的視点、さらに社会精神医学視点などいくつかの視点から総合的に捉える必要があります。まず、基本的な考え方、障害のとらえ方、いくつかの（立場）、ついで各病態について、主にストレス関連障害、神経症性障害、気分障害、統合失調症（精神分裂病）、などを中心に学習します。また、「脳の構造と機能」「精神医学的診断法」、治療学、精神保健福祉対策、老年期痴呆症などの脳の器質性精神障害について、あるいは、精神作用物質依存症、てんかん、発達障害その他について学びます。</p>			

科目名	精神保健学（2007年度開講）	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	2007年度赴任予定者		
<p>【概要】 精神保健学は独自の方法論もありますが、まだ十分確立されていませんので、精神医学や臨床心理学なども援用しながら、心の健康を保持し、発症予防活動を行い、精神障害をもった人の社会復帰・再発予防に努める実践的な学問といえます。また精神健康に影響を与える大災害や犯罪被害、異文化体験などについて対応を考えるのも精神保健学の役割でしょう。講義ではまず、精神の健康について考え、精神保健学の考え方を学び、発達段階における精神保健、社会の現場での精神保健、ついで個別課題を取り上げ、精神障害をもった人の地域ケア、世界の潮流について学びます。</p>			

科目名	高齢者福祉論	科目群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	野口典子		
<p>【概要】 本講義の目的は、21世紀少子・高齢社会の現状分析を通して、新たな社会システム構築を推進するための方法と方策について学ぶことである。現代の高齢者が辿った時代の理解、高齢社会の理解と問題の所在を明確にする。ついで高齢者福祉制度のあゆみの理解にたって、法制度ならびに各施策の具体的内容の理解を行う。さらに、高齢者福祉実践の基本的理念と具体的援助方法の理解を踏まえ、今後の高齢者福祉の方向性について理解を深める。</p>			

科目名	介護福祉論	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	木野美恵子		
【概要】 介護の歴史的展開を踏まえた上で、1. 介護の概念と枠組み、2. 介護の専門性とは何か、3. 生活の視点にたった要介護者のニーズ理解、4. 安全・安楽・快適を原則とした介護技術の基本、5. より良い介護関係維持のために必要な援助技術と他職種との連携の重要性、6. 介護政策及び公的介護保険におけるケアマネジメントに関する基本的な事項、について取り上げていく。生活の視点に立った実践レベルから政策レベルまで、事例等を紹介しながら、理解を深めていく。			

科目名	高齢者の生理	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	久保田競		
【概要】 我々の身体は、細胞から構成されており、我々が地球環境で生活し、生存する時には、我々の身体は、統合体として働いて、環境へ適応している。そして、脳が、身体の動きを制御している。まず、脳と身体の動きを勉強する。ついで、生まれてから死ぬまでに、加齢とともに、脳と身体の動きがどのように変わるかを勉強する。ついで、以下の質問に答えられるよう、最近の生理学の研究成果からの講義をする。加齢とともに、細胞の動きが低下するが(老化)、何故だろうか。脳細胞、筋肉細胞など、異なった動きをする細胞で、老化はどう違っているのだろうか。老化のメカニズムは何だろうか。生活の質は、加齢とともにどう変わるのだろうか。遺伝と老化はどう関係しているのだろうか。我々が死ぬとき、脳と身体の動きは、どのように変わっていくのだろうか。我々の寿命を決めている因子と、それを延ばす方法について。加齢とともに増える病気で、脳と身体がどう働いているのだろうか。			

科目名	福祉文化論	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	小椋喜一郎		
【概要】 社会福祉の分野で、文化という言葉の定義は不十分である。しかしながら、文化を生活としてとらえるならば、介護保険法によって医療と福祉が同じ法体系の中に把握されようとしているとき、我が国における福祉文化の今をどう読み解くかの課題は大きい。ここでは歴史学を初めとして民俗学などさまざまな人文科学分野の成果を取り入れながら、社会福祉の分野における文化とは何か考えていく。また、近年施設の生活の中で、利用者若い職員のコミュニケーションのギャップが生まれてきている。このような現状のなかに、福祉文化を介在させることで、両者のギャップの解消を図ることも併せて意図している。			

科目名	健康と生涯スポーツ	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	放送授業・テキスト併修科目
担当教員	松井健		
【概要】 少子高齢化社会、高度情報化・自動化社会にあって健康とスポーツの役割は大きい。生涯にわたる心身の健康について、健康・スポーツ科学や体力科学の基礎的知見を基礎にライフサイクルと関連して学習する。特に健康の維持増進に果たすスポーツや身体活動の役割について実践的課題に引き付けて深める。また、障害を持つ人々のスポーツへの取り組みとその効果についても言及する。この学習で獲得した知識と実践能力を生涯を通して活用し、また、中には職業での専門的能力として生かす事を目指す。この科目は、テキストとCD-ROM教材を併用する新しい方法での講義である。			

科目名	高齢者の心理	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	大島貞夫		
【概要】 現代、日本及び世界諸国は高齢者の諸問題に直面している。一つは、四十代から始まる能力の低下の諸問題、二つには、老化が進んで来た場合の対応に別けて考える必要がある。これらの解明方法としては、生理心理学、臨床心理学、社会心理学の知識、技術を駆使して解決する創造性が当然必要とされる。人生全体を考えると、健康者、病者の成熟過程の中で役割をいかに遂行するか、さらにはいかに居場所に安定させるかということもこの講義と研究の対象となる。			

科目名	社会福祉援助技術論	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	8単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	加藤俊二、平野隆之		
【概要】 社会福祉援助技術は、直接援助技術の分野である個別援助技術と集団援助技術によって、日々第一線で利用者を援助する学問として発展してきたが、近年間接援助技術の分野で、地域援助技術のみならず社会福祉調査法・社会福祉運営管理・社会活動法・社会計画法などの後方支援とも言うべき分野も大切になってきている。また、介護保険法の居宅介護支援、施設サービス計画の展開過程を理解する上でも社会福祉援助技術が果たす役割は大きい。本講は、対人援助に必要な人と人との信頼関係の築き方、コミュニケーションなど社会福祉の基本的な技術の習得とともに具体的事例に基づきながら実践の学問として応用できるように講義を進めていく。(第1分冊)対人援助技術を中心に、直接援助技術の分野である個別援助技術と集団援助技術について具体的事例に基づきながら、基本的な技術の習得に関する指導を分担する。(第2分冊)地域援助技術を中心に、地域福祉を志向する社会福祉援助技術を体系的に講義する。			

科目名	メンタルヘルスとライフサイクル	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	田原孝		
<p>【概要】メンタルヘルスは、心の健康とよばれている。現代の家庭・学校の崩壊、職場や社会の対人関係、社会的規範の喪失などは、個人・家族・学校・職場・地域において、対処不能なストレスを生み出し、非及び反社会的な行動として現われる。本講義は、メンタルヘルスを「カオス・複雑系理論」の実証的な成果である「ホメオダイナミクス」の視点から論ずると共に、胎生期～終末期までのライフサイクルにそった、メンタルヘルスのあり方、リスク因子・対応などを臨床例をふまえて検討する。</p>			

科目名	シルバーファイナンス	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	安宅川佳之		
<p>【概要】高齢化社会における家計の収支の動向を明らかにし、高齢化社会の資産蓄積を支える年金・保険・投資信託、資金調達面ではリバース・モーゲジなどのシステムについて講じる。低金利下で自己責任原則による資産運用が個人にも求められており、アクティブな高齢者も増加する方向にある。格付制度や、株式・債券・外国証券を含むポートフォリオの運用基礎理論を、特にリスク・マネージメントに重点を置き、例題学習でマスターさせる。</p>			

科目名	生涯学習論	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	那須野隆一		
<p>【概要】生涯学習は、学習機会としては「生涯にわたる学習」(生涯継続学習)であり、学習目的としては「生涯のための学習」(生涯設計学習)である、という観点を重視する。その場合、生涯継続学習の基調は、人びとが生涯という時間を共有することの重要性、つまり世代共生の意義を教授することであり、生涯設計学習の基調は、人びとが生涯という空間を共有することの重要性、つまり地域共創の意義を教授することである。以上、世代共生と地域共創を中心に生涯学習論を展開する。</p>			

科目名	長寿社会論	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	近藤克則		
<p>【概要】本講義では、長寿社会における医療福祉分野を中心とする課題を明らかにすること、およびそれを克服するための医療福祉におけるマネジメントについての基本的な理解を図ることを目的とする。具体的には、健康に関連するQOL(quality of life, 生活・人生の質)や、国際生活機能分類(ICF)、ケアマネジメント、チームマネジメント、介護保険制度、福祉産業の特性、政策レベルにおけるマネジメントなどについて論じる。</p>			

科目名	精神科リハビリテーション学(2007年度開講)	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	2007年度赴任予定者		
<p>【概要】精神障害のある方々に対するリハビリテーションについて、その概要を学ぶ。主な対象疾患は統合失調症(精神分裂病)、躁うつ病、てんかん等であるが、リハビリテーションの焦点は生活におかれるため、さまざまな病や障害をもちながらも新たな人生を送ろうとする人々を支援する思想と技術である。</p> <p>わが国では、精神障害とその社会復帰・社会参加が法的に認められたのはようやく1987年であり、社会復帰施設の数は増えつつあるものの、そこで実践されるべき思想と技術がともなっていないきらいがある。</p> <p>精神障害リハビリテーションに関する歴史、制度、社会資源、プログラム、各種技術、チームワークなどを理論的に学ぶ。</p>			

科目名	精神保健福祉援助技術総論	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	2006年度赴任予定者		
<p>【概要】精神保健福祉における専門職として精神保健福祉士の果たす役割や精神障害者に対する基本的視点と態度、精神保健福祉活動の意義と目的、理論と歴史を学ぶ。また、精神障害者を中心とした社会福祉サービスと援助活動の体系と展開について理解し、社会福祉援助活動の考え方や専門的援助技術の基礎を修得する。</p>			

科目名	精神保健福祉援助技術各論	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	2006年度赴任予定者		
<p>【概要】精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの必要性は精神保健福祉論等からも理解できる。本講義では社会福祉援助実践に必要な社会福祉援助技術・方法について理解を深めるとともに、精神障害者の疾病や障害、障害者を取り巻く家族やその関係者・地域を対象とした場合の特徴を理解した上での実際的な援助技術・方法の習得を目指す。</p> <p>個別援助技術、集団援助技術、地域援助技術について理解するとともに、精神障害者やその家族、精神障害者を取り巻く地域を対象とした援助技術・方法について事例検討などをとおして理解する。また精神障害者の地域生活支援の方法として関連するケアマネジメントやネットワークについても理解をすすめる。</p> <p>特に昨年は障害者福祉、精神保健・医療分野も大きな制度改正を迎えた。その中で制度上の方法とソーシャルワークの関係について注意を払いたい。</p>			

資格科目

科目名	社会福祉援助技術現場実習指導	科目群	資格科目
単位数	1単位	学年配当	4年
担当教員	澤田和子 他	科目の種類	スクーリング科目

【概要】 実習前に実習生としてふさわしい基礎的な知識、援助技術及び態度を身に付け、実習の目標や意義について理解する。実習計画書や実習日誌の作成指導を行なう。

本科目の目標は以下のとおりである。

1. 社会福祉援助技術現場実習の意義について理解する。
2. 社会福祉援助技術現場実習を通じて、大学で学んだ専門知識、専門援助技術及び関連知識の内容の理解を深める。
3. 実践的な技術等を実際に活用し、相談援助業務に必要な資質・能力・技術を習得する。
4. 福祉に関する相談援助の専門職としての自覚を促し、専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得できるようにする。

科目名	社会福祉援助技術演習	科目群	資格科目
単位数	4単位	学年配当	4年
担当教員	小椋喜一郎 他	科目の種類	テキスト・スクーリング併修科目

【概要】 具体的な援助事例を体系的に取りあげるなどして、社会福祉援助技術をその援助課程を含め具体的に理解し、具体的な援助場面を想定した実技指導を実施し、社会福祉援助技術を身に付ける。

本演習の目標は以下のとおりである。

1. 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ学習する。
2. 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。さらに、在宅での生活支援も視野に入れて理解する。

【2006年度資格科目スクーリング日程】（予定）

科目名	場所	日程	会場*
社会福祉援助技術現場実習指導	東京A	5月13日（土）	タイム24ビル
	東京B	5月27日（土）	フォーラムエイト
	本学A	5月20日（土）	美浜キャンパス
	本学B	6月3日（土）	美浜キャンパス
	大阪	5月6日（土）	大阪国際会議場
	岡山	5月20日（土）	岡山コンベンションセンター
	福岡	5月13日（土）	福岡県中小企業振興センター
社会福祉援助技術演習	東京A	5月14日（日）	タイム24ビル
	東京B	5月28日（日）	フォーラムエイト
	本学A	5月21日（日）	美浜キャンパス
	本学B	6月4日（日）	美浜キャンパス
	大阪	5月7日（日）	大阪国際会議場
	岡山	5月21日（日）	岡山コンベンションセンター
	福岡	5月14日（日）	福岡県中小企業振興センター

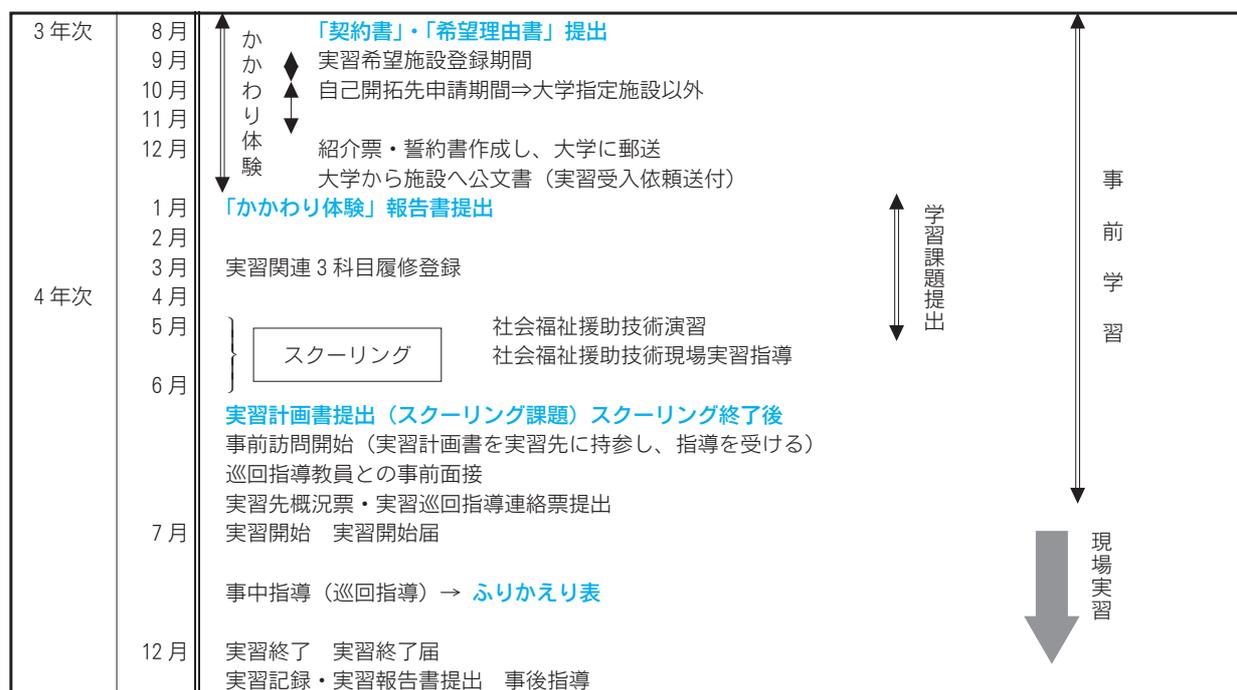
*会場所在地、最寄駅はP. 61の【2006年度スクーリング会場】をご参照ください。

科目名	社会福祉援助技術現場実習	科目群	資格科目
単位数	4単位	学年配当	4年
担当教員	小椋喜一郎 他	科目の種類	実習科目
<p>【概要】 実習施設において4週間（24日・180時間以上）の配属実習を行なう。実習日誌等の実習記録を作成し、実習終了後に実習記録及び実習報告書（レポート）を提出する。実習の目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現場体験を通して社会福祉専門職（社会福祉士）として仕事をするうえで必要な「専門知識」、「専門援助技術」及び「関連知識」の内容の理解を深める。 2. 「専門知識」、「専門援助技術」及び「関連知識」を実際に活用し、相談援助業務に必要な資質・能力・技術を習得する。 3. 職業倫理を身につけ、福祉専門職としての自覚にもとづいた行動ができるようにする。 4. 具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 5. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を理解する。 			

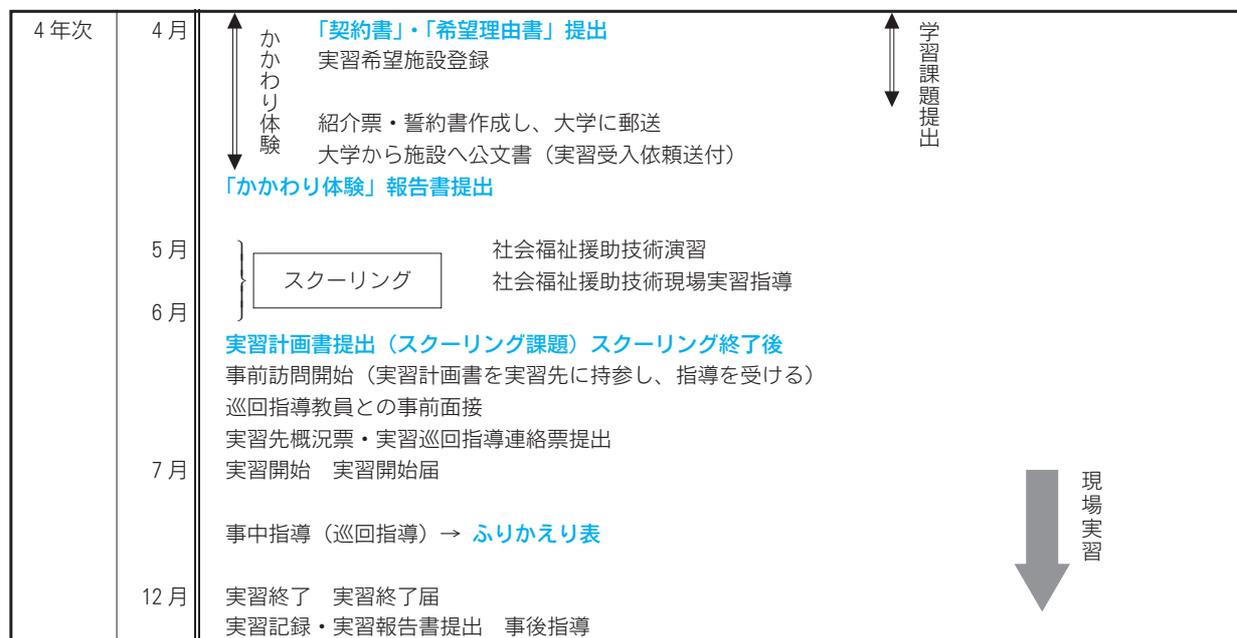
① 社会福祉援助技術現場実習の内容

現場実習は、4週間（24日間／180時間以上）行う必要があります。この実習施設は、大学からの実習施設情報などに基づき、原則として学生自身が希望する実習施設を訪問し内諾を得ることになります。なお、実務の経験による免除は一切認められません。

② 実習教育の流れ 1年次入学、2・3年次編入学の例示



4年次編入学の例示



かわり体験とは・・・

社会福祉の現場に触れることで福祉利用者の現状を知り、実習を行うにあたり福祉実践に対する具体的なイメージをつかみ問題関心を深めることを目的としています。

内容については、社会福祉施設などでボランティア体験を行ないます。例えば体験先の行事補助（遠足、キャンプ、夏祭り、クリスマス会など）や施設内の掃除、食事や入浴、車椅子移動の補助、散歩付き添いなどです。体験日数は3日以上になります。実践箇所については、社会福祉援助技術現場実習を希望する社会福祉施設や社会福祉協議会などです。

科目名	精神保健福祉援助演習（2007年度開講）	科目群	資格科目
単位数	2単位	学年配当	4年
担当教員	2007年度赴任予定者	科目の種類	テキスト・スクーリング併修科目

【概要】 個々にとっての「疾患」「障害」とそこから生じる「生活課題」「生活問題」に対する精神保健福祉士の視点と援助技術について学習する。事例や実習で体験した場面などを通して、精神保健福祉士に求められている役割は何か、適切に応えられるための援助技術や知識とは何かなどの討議を深める。学生にとって視点と援助技術への関心と、さらに、自己への客観視及び主体的に行動する力、何よりも、精神障害者を深く理解する力を養える場としたい。

科目名	精神保健福祉援助実習（2007年度開講）	科目群	資格科目
単位数	6単位	学年配当	4年
担当教員	2007年度赴任予定者	科目の種類	実習・スクーリング併修科目

【概要】 現場実習を軸に、精神障害者の医療と生活にかかわる諸施設・諸機関（医療機関、社会復帰施設、行政機関など）の実情とそれらを利用している当事者・家族への理解を深める。彼らの「疾患」「障害」の実態とそこから生じる「生活課題」「生活問題」を把握し、当事者とともその改善・解決に向かう精神保健福祉士の幅広い実践を学ぶ。さらに、実習クラスのなかで討議を深め、精神保健福祉領域における社会福祉実践とは何か、視点・技術・知識とは何かを問い直し、問題意識を育てあえる場としたい。

① 精神保健福祉援助実習の内容

精神病院などの精神科医療機関や精神障害者社会復帰施設などで24日間・180時間以上の配属実習を行います。実習先は原則として学生自身で確保することが必要です。なお、実務の経験による実習の免除は一切認められません。

② 精神保健福祉援助実習教育の流れ

3年次	10月	実習希望理由書・契約書提出
	11月	実習希望先登録 実習受入依頼（実習生自身で実習先を確保）
	2月	事前学習課題提出
	3月	履修登録（精神保健福祉援助演習、精神保健福祉援助実習）
	4年次	4月
5月		〈前期〉スクーリング受講（事前指導） ※
6月		実習計画書提出 巡回指導教員との事前面接
7月		実習先事前訪問
9月		↑ 精神保健福祉援助実習（9月～11月） 事中指導（巡回指導） → ふりかえり表
11月		↓
12月		〈後期〉スクーリング受講（事後指導） ※ 実習記録・実習報告書提出

※スクーリングは本学（美浜キャンパス）のみで開講されます。

(2) オンデマンド科目

科目名	福祉社会入門	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	学年配当	1年
担当教員	加藤幸雄	科目の種類	オンデマンド科目

【概要】「福祉」という言葉は「しあわせ」を意味します。その英文であるウェルフェアは、「よりよく生きる」という意味です。福祉社会は、「いのち」「くらし」「いきがい」を大切に、人がゆたかに生きてくことを支える社会です。福祉社会を実現するためには、社会福祉をはじめとして、さまざまな分野の研究や実践が力を合わせる必要があります。これを日本福祉大学では「人間福祉複合」と呼んでいます。「福祉社会入門」では、「人間福祉複合」の観点から「福祉」への接近について学びます。

科目名	福祉情報技術	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	学年配当	1年
担当教員	中邑賢龍	科目の種類	オンデマンド科目

【概要】アシスティブテクノロジー（Assistive Technology：以下、AT）は、日本では「福祉用具」「支援技術」といわれる分野であり、「障害を持つ人の生活を助けるテクノロジー」を意味する。車いす、自助具、コミュニケーション機器等あらゆる生活場面で利用される福祉用具や住宅・まちづくり等の環境整備は、ATの役割でもあり、最近ではコンピュータを利用した「e-AT（福祉情報技術：以下、e-AT）」も一般化しつつある。この講義では実際の相談導入・利用事例の概説を含め、e-ATの概要を学ぶ。

科目名	経営開発序論（オンデマンド版）	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	学年配当	1年
担当教員	斎藤千宏	科目の種類	オンデマンド科目

【概要】経営開発の概念とりわけ新しいマネジメントの概念について具体的事例を織り込みつつ、学習する。学習内容全体と現実の諸課題との関連を明らかにし、学習意欲を高めるとともに、4年間の学習設計を意識させる。

科目名	スポーツマネジメント	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	学年配当	1年
担当教員	松井健	科目の種類	オンデマンド科目

【概要】本講義では、生涯スポーツ実践に関わる個人のマネジメントや国・地域・社会・企業などが連携しておこなうスポーツマネジメントについて解説する。前半の講義では、ライフサイクルに応じたスポーツ実践の考え方および具体的方法について触れる。後半の講義では、スポーツを取り巻く社会環境について触れ、スポーツが果たす社会的役割について考察する。

科目名	実践英会話	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	学年配当	1年
担当教員	影戸誠	科目の種類	オンデマンド科目

【概要】看護師の洋子さんがハワイの病院の視察を行うというストーリーで基本的な英会話を学ぶが、英会話だけでなく、英語を使う場面での基本情報、異文化についても学ぶ。アポイントの取り方、パスポートの取得や、英文電子メールなどの学習も行いPCの特性を生かし、単語の反復練習を行う。英語レベルは英語Ⅰを想定。単語数は1500語レベル。

科目名	英語プレゼンテーション	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	学年配当	1年
担当教員	影戸誠	科目の種類	オンデマンド科目

【概要】学習者に関連の深い事柄を簡単平易な英語表現で説明できるようにする。特に福祉、看護に関する事柄を英語で語れるようにする。日本の施設に海外からの訪問者が来たとき、最低限の情報を与えることができると同時に、福祉に関する基本情報を語れるようにする。単語英語レベルは2000語レベルを適用。英検準2級レベル。

※各科目の担当教員、概要については変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 ※オンデマンド科目は後期（10月）より学習開始となり、履修期間は半期のみとなります。
 ※開講内容が変更される場合がありますのでご了承ください。

(3) スクーリング科目

【2006年度スクーリング会場】(予定)

会場	場所	最寄駅	開講科目
本学	日本福祉大学(美浜キャンパス) 愛知県知多郡美浜町奥田	名鉄・知多新線「知多奥田」駅下車、徒歩5分	総合セッション、経営開発序論、フォローアップセッションⅠ・Ⅱ、資格科目スクーリング、障害者スポーツ研究
名古屋	日本福祉大学(名古屋キャンパス) 名古屋市中区千代田5-22-35	地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅下車、徒歩2分、 JR中央線「鶴舞」駅下車、公園口より徒歩2分	事例研究ⅠB・ⅡB・ⅢB・Ⅳ
	名古屋市(予定) (※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします)		総合セッション
北海道	北星学園大学 札幌市厚別区大谷地西2丁目 3番地1号	札幌駅・札幌市中心部からの場合 地下鉄利用の場合は(札幌駅から大通駅までは、南北線「真駒内」方面行きに乗車して)大通駅で東西線「新さっぽろ」行きに乗車し、大谷地駅下車(所要約15分) 大学周辺 地下鉄大谷地駅からは、1番出口を出て左手サイクリングロードを本学A館を目標に西へ徒歩5分	総合セッション
東京	国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町 3-1	小田急線 参宮橋駅下車 徒歩7分 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩10分 <代々木公園方面出口> 京王バス 新宿駅西口(16番)より 渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車すぐ	総合セッション
	フォーラムエイト 東京都渋谷区道玄坂2-10-7	JR山手線、地下鉄銀座線、東急東横線、東急田園都市線、京王井の頭線「渋谷」駅下車 徒歩7分	資格科目スクーリング
	タイム24ビル 東京都江東区青海2-45	ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車、徒歩2分 *ゆりかもめJR「新橋」駅~「テレコムセンター」駅、所要時間約18分	総合セッション 資格科目スクーリング
新潟	国際福祉医療カレッジ 新潟県新潟市古町通2-547	バス 一新潟駅バスターミナルからー ●2番線 附船町経由入船営業所行きに乗り、「本町通5番町」で下車、徒歩4分 ●10番線 浜浦町行きに乗り、「古町」で下車、徒歩6分 ●7・8・12番線で乗車し、「市役所前」で下車、徒歩5分	総合セッション
大阪	大阪国際会議場 大阪市北区中之島5-3-51	JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪市バス(53系統 船津橋行)または(55系統 鶴町四行)で約15分「堂島大橋」バス停下車、JR大阪環状線「福島駅」、JR東西線「新福島駅」(2番出口)、阪神電鉄「福島駅」、大阪市営地下鉄(中央線・千日前線)「阿波座」(中央線1号出口・千日前線9号出口) 上記各駅よりそれぞれ徒歩約10分	総合セッション、 資格科目スクーリング
岡山	岡山コンベンションセンター 岡山市駅元町14-1	JR岡山駅西口より徒歩3分	総合セッション、 資格科目スクーリング
福岡	福岡県中小企業振興センター 福岡市博多区吉塚本町9-15	<天神から>西鉄バス 吉塚営業所行き(約15分) 地下鉄空港線 馬出九大病院前駅下車 <博多駅から> JR 鹿児島本線 吉塚駅下車 東口よりすぐ	総合セッション、 資格科目スクーリング
沖縄	沖縄県那覇市(予定) (※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします)		総合セッション

※上記は予定であり、都合により変更されることがあります。

【スクーリング授業時間帯】

1日目		2日目	
第1講	9:00~10:10	第9講	9:00~10:10
第2講	10:15~11:25	第10講	10:15~11:25
第3講	11:30~12:40	第11講	11:30~12:40
第4講	13:30~14:40	第12講	13:30~14:40
第5講	14:45~15:55	第13講	14:45~15:55
第6講	16:00~17:10	第14講	16:00~17:10
第7講	17:15~18:25	第15講	17:15~18:25
第8講	18:30~19:40		

※スクーリング科目の当日のスケジュールと内容は変更されることがあります。また事前課題が課せられる場合があります。これらは入学後に本学通信教育部ホームページでお知らせします。

【2006 年度スクーリング科目】

科目名	経営開発序論	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	通信教育課程の導入教育として、経営開発とは何かを明らかにし、経営開発を学ぶうえでの課題や方法について論ずる。講義を通じ、経営開発学習の全体の見取図を与え、知識の追求、問題解決の探求、資格に取得等々に向けての学習意欲を喚起する。		
会場	本学	教員	斎藤千宏
日程	2006年5月27～28日（土・日）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		
1日目	内 容		
第1講	開講式、オリエンテーション		
第2講	全体講義（1）		
第3講			
第4講	講義（経済・経営概論、地域・開発概論、医療・福祉概論を各1講ずつ行う）		
第5講			
第6講	NFU オンラインの学習についての講義（学習指導講師）		
第7講	質疑応答・意見交換（交流会）		
第8講			
2日目	内 容		
第9講	全体講義（2）		
第10講	講義（ビジネスマネジメント、ヘルスケアとライフマネジメント、コミュニティマネジメント・国際協力、医療・福祉マネジメントの4分野に分けて実施する。）		
第11講			
第12講	セミナー、ワークショップ、質疑応答等も取り入れて実施する。また並行して図書館ガイダンス・実習ガイダンスも実施する		
第13講			
第14講	科目修了試験（または試験に相当する筆記レポート作成）		
第15講	パソコンガイダンス・その他相談を並行して実施する。		

「経営開発序論」の履修について

「経営開発序論」は本学通信教育課程の導入教育として開講される科目です。必修科目ではありませんができるだけ履修してください。

なお、この科目は以下の2通りの授業形態で開講されます。

- ①スクーリング科目「経営開発序論」【P.62】
- ②オンデマンド科目「経営開発序論（オンデマンド版）」【P.60】

授業形態は異なりますが同一内容となっておりますので、いずれか1科目のみ履修可能となります。履修を希望する場合、「⑩2006年度履修登録用紙」にはいずれか1科目のみをマークするようにしてください。

科目名	総合セッションⅠA（経済・経営概論）	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	経済・社会、産業組織および企業経営の基礎的な事項を押えつつ、21世紀の経済・社会をになう社会貢献型企業の経営開発を把握する枠組みを学ぶことにより、新たなビジネスマネジメントの学習に取り組むための方向づけを行う。高齢社会の経済、環境と社会会計、サービスと顧客満足などといった問題を取り上げ、具体的な事例を織り込みながら討議を行い、それぞれの問題領域での諸課題を的確に理解できるように指導する。		
会場	東京	教員	安宅川佳之
日程	2006年7月8日～9日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	グローバル市場主義と企業経営・社会福祉		
会場	大阪	教員	小木紀親
日程	2006年8月8日～9日（火・水）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	現代マネジメントの潮流と賢い消費者		
会場	新潟	教員	新谷司
日程	2006年10月14日～15日（土・日）		
場所	新潟県新潟市古町通2-547（国際福祉医療カレッジ）		
テーマ	福祉と経営		
会場	本学	教員	小木紀親
日程	2006年12月9日～10日（土・日）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		
テーマ	現代マネジメントの潮流と賢い消費者		

科目名	総合セッションⅠB（地域・開発概論）	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	国内においては福祉、介護、まちづくり、環境保全等の諸課題を、また国際分野においては社会開発、とりわけ貧困緩和や環境保全、人権といった諸課題について理解を深めるとともに、そうした取り組みのマネジメント手法を学ぶ。とりわけ当事者住民自身が、自らの力で資源を動員し、行政サービスや市場メカニズムを活用できる力をつけるプロセスがいかんにかして可能になるのかを、具体的事例を通して学ぶ。総論的な講義に加えて、参加者の問題意識の共有化を図る。		
会場	東京	教員	神田浩史
日程	2006年7月15日～16日（土・日）		
場所	東京都江東区青海2-45（タイム24ビル）		
テーマ	『途上国』の開発と私たち		
会場	大阪	教員	雨森孝悦
日程	2006年8月14日～15日（月・火）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	『途上国』の開発と私たち		
会場	本学	教員	神田浩史
日程	2006年12月2日～3日（土・日）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		
テーマ	『途上国』の開発と私たち		
会場	沖縄	教員	斎藤千宏
日程	2006年12月9日～10日（土・日）		
場所	沖縄県那覇市（予定） ※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします。		
テーマ	グローバリゼーションの下での国際社会開発		

科目名	総合セッションⅠC（医療・福祉概論）	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	医療・福祉分野における営利・非営利組織のマネジメントの開発と新産業の創出に関連する基礎的な知識を学ぶ。病院や福祉施設などの非営利組織の経営、介護ビジネスなどの営利組織の経営、それらの比較研究など、ビデオ・雑誌・新聞記事などを材料に、身近に起こっている医療・福祉問題を取り上げ、医療及び福祉に係わる制度・政策だけでなく社会・経済システムという枠組みに関連させて総合的に考える。この学習課程で、各自が関連科目の総合的な位置づけをし、自らの研究課題を発見する契機としてもらいたい。また、医療・福祉現場で働いている受講者の中から、日頃感じている問題意識を発表し討議をしてみたい。		
会場	東京	教員	高木安雄
日程	2006年6月10日～11日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	21世紀における医療と福祉の役割 -豊かな社会における「心」と「身体」の貧しさを考える-		
会場	大阪	教員	李忻
日程	2006年8月10日～11日（木・金）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	今日の医療・福祉制度と制度改革		
会場	北海道	教員	五十嵐教行
日程	2006年9月2日～3日（土・日）		
場所	北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1（北星学園大学）		
テーマ	社会福祉の歴史		
会場	本学	教員	李忻
日程	2006年12月16日～17日（土・日）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		
テーマ	今日の医療・福祉制度と制度改革		

科目名	総合セッションⅡA（ビジネスマネジメント）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	ビジネスマネジメントの学習領域について、資金、物的資源、人的資源といった3つの柱を体系的に関係づけて理解するとともに、21世紀型経営に挑戦する企業イノベーションをテーマに取り上げ、戦略創出とネットワーク型組織の構築について研究する。産業や企業の動向や展開ばかりでなく、医療・福祉や環境ビジネスといった新分野の具体的な事例研究を通じて、営利と非営利との相互関連や相互浸透についても学んでいく。		
会場	東京	教員	竹下隆
日程	2006年6月10日～11日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	変わり行く企業社会の構造		
会場	大阪	教員	新谷司
日程	2006年8月12日～13日（土・日）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	マクドナルド化する企業（費用・原価削減と資本回転率上昇）		
会場	福岡	教員	新谷司
日程	2006年10月28日～29日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	マクドナルド化する企業（費用・原価削減と資本回転率上昇）		
会場	本学	教員	新谷司
日程	2006年12月16日～17日（土・日）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		
テーマ	マクドナルド化する企業（費用・原価削減と資本回転率上昇）		

科目名	総合セッションⅡB（コミュニティマネジメント・国際協力）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	一国の経済の中で、医療、福祉、文化、コミュニティ開発、環境といった分野では、NPO（非営利団体）による活動は企業や行政と比較して実際にどの程度の規模を占めているのか、またそのマネジメントはどのようになされているのだろうか。日本のみならず諸外国の代表的なNPOを事例研究しながら、これまで社会経済活動の「アクター」として主流となってきた企業や行政とNPOとの相違点、共通点を明らかにしていく。		
会場	東京	教員	斎藤千宏
日程	2006年7月8日～9日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	環境と開発		
会場	大阪	教員	斎藤千宏
日程	2006年8月8日～9日（火・水）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	環境と開発		
会場	福岡	教員	雨森孝悦
日程	2006年9月2日～3日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	自分たちでつくる豊かな地域		
会場	本学	教員	野崎泰志
日程	2006年12月9日～10日（土・日）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		
テーマ	障害から世界を見る		

科目名	総合セッションⅡC（医療・福祉マネジメント）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	医療・福祉マネジメントの開発・創出をめざし、これに直接関連する医療福祉経営、非営利マーケティング、非営利組織会計などだけでなく、密接に関連する医療経済・医療政策、福祉計画、社会保障制度、さらに、背景となっている現代福祉社会システムについて考察し、総合的な枠組みのなかに位置づけ、動的なイメージを描けるようにしたい。その際には、紀要、ビデオ・雑誌・新聞記事などを材料に、身近に起こっている医療・福祉問題を適宜とりあげる。この学習課程の中で、医療・福祉マネジメント関連の諸科学を各自が総合的に理解することによって、各自の学習を方向づけ、研究テーマが発見できるようにしたい。		
会場	東京	教員	中島明彦
日程	2006年7月1日～2日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	福祉医療サービスと組織		
会場	大阪	教員	李忻
日程	2006年8月14日～15日（月・火）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	今日の医療福祉マネジメントの現状と課題		
会場	福岡	教員	李忻
日程	2006年10月7日～8日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	今日の医療福祉マネジメントの現状と課題		
会場	本学	教員	李忻
日程	2006年12月2日～3日（土・日）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		
テーマ	今日の医療福祉マネジメントの現状と課題		

科目名	総合セッションⅡD（ヘルスケアとライフマネジメント）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	高齢社会といっても、実は要介護高齢者よりも健康な高齢者が圧倒的に多い。しかし、両者ともに様々なサービスを必要としている。そこで、シニアサービスの展開に必要な基礎的な知識及び技術を学ぶ。その内容としては、21世紀長寿社会の展望、それへ向けての高齢者福祉の動向ならびに社会福祉の方法などの理論・制度の知識と同時に、援助の場面における介護福祉、また、高齢者の生理や心理、生涯スポーツ、生涯学習、シルバーファイナンスなどについて学ぶ。これらは相互に密接に関連しているので、新ライフスタイルとして総合的な枠組みを描いてみたい。そして、各自がこれらを総合的に理解することによって、各自の学習を方向づけ、研究テーマが発見できるようにしたい。		
会場	東京	教員	佐藤慎一
日程	2006年7月15日～16日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	福祉とICT（情報通信技術）		
会場	大阪	教員	田原孝
日程	2006年8月10日～11日（木・金）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	線形・非線形理論とカオス・複雑系理論でヘルスケアとライフマネジメントを再構成する ※「医学概論」・「メンタルヘルスとライフサイクル」を修了または履修していること。		
会場	福岡	教員	明星智美
日程	2006年10月14日～15日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	社会福祉実践と権利擁護		
会場	本学	教員	那須野隆一
日程	2006年11月4日～5日（土・日）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		
テーマ	生涯学習のフィールドに学ぶ		

科目名	総合セッションⅢA（ビジネスマネジメント）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	21世紀型産業といわれる医療、福祉、環境分野におけるニュービジネスにおける事例研究を中心にして、ベンチャー戦略、企業家精神の発揮、起業支援とファイナンスなど新事業創出に取り組むポイントを学び、ビジネスプランづくりの方法を学習させる。具体的な事例について、事前にいくつか課題を与えて分析や発表させたり、新事業のアイデアからコンセプトづくりにいたる演習を行う。		
会場	東京	教員	橋口徹
日程	2006年7月15日～16日（土・日）		
場所	東京都江東区青海2-45（タイム24ビル）		
テーマ	非営利組織の経営管理～医療・福祉分野を中心として～		
会場	大阪	教員	新谷司
日程	2006年8月10日～11日（木・金）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	医療・福祉施設の経営・会計		
会場	福岡	教員	丸山優
日程	2006年9月2日～3日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	福祉社会を創る福祉ミックス		
会場	名古屋	教員	新谷司
日程	2006年11月4日～5日（土・日）		
場所	愛知県名古屋市（予定）※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします。		
テーマ	病院の経営・会計		

科目名	総合セッションⅢB（コミュニティマネジメント・国際協力）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	一人一人の福祉を高めることにおいて、中央国家の役割が根本的に問い直される中、近年、世界各地で試みられ始めた地方分権を中心に学ぶ。日本においては、同問題を財政面から考察し、その理念を実現する上での諸課題について認識を深める。またアジア諸国については、社会開発と住民参加の視点から、その現状と将来的な諸課題について考察を深めるとともに、そうした動きを側面から支援している国連や世界銀行といった諸機関の動向についても理解を深める。同分野の研究者・行政官等をゲストに迎え、実践的かつ実務的な、現場に即した問題理解に努める。		
会場	東京	教員	源由理子
日程	2006年7月1日～2日（土・日）		
場所	東京都江東区青海2-45（タイム24ビル）		
テーマ	参加型計画手法を身に付けよう		
会場	大阪	教員	雨森孝悦
日程	2006年8月12日～13日（土・日）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	参加型計画手法を身に付けよう		
会場	福岡	教員	野崎泰志
日程	2006年10月28日～29日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	宗教・文化・開発		
会場	名古屋	教員	斎藤千宏
日程	2006年12月16日～17日（土・日）		
場所	愛知県名古屋市（予定）※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします。		
テーマ	社会経済の代替システムを実践する		

科目名	総合セッションⅢC（医療・福祉マネジメント）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	医療・福祉分野における営利・非営利組織のマネジメントの開発と新産業の創出をめざしたより専門的な知識を学ぶ。介護保険の開始により、病院や福祉施設の非営利組織経営のあり方の根本的な見直しが行われている。介護ビジネスをめざし一般企業の参入も著しい。そこで、これら非営利組織・営利組織の経営およびそれらの比較研究だけでなく、密接に関連する医療経済・医療政策、福祉計画、社会保障制度、さらに、背景となっている現代福祉社会システムについて、具体的事例をもとに、担当教員の専門分野に引きつけた講義を行なう。また、受講者が事例研究等の中間報告の発表を行うとともに、そこでの各発表に基づいたいくつかのテーマでのワークショップ（分散会）を組み合わせることにより、学生間の交流を更に深める。		
会場	東京	教員	田原孝
日程	2006年7月8日～9日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	医療・福祉領域におけるマネジメントの基盤を創る ※「医学概論」・「メンタルヘルスとライフサイクル」を修了または履修していること。		
会場	大阪	教員	訓覇法子
日程	2006年8月8日～9日（火・水）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	ライフサイクル上における社会的事故と生活保障システム～日瑞比較～ ※「福祉社会システム論」を修了または履修していること。		
会場	福岡	教員	訓覇法子
日程	2006年10月14日～15日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	ライフサイクル上における社会的事故と生活保障システム～日瑞比較～ ※「福祉社会システム論」を修了または履修していること。		
会場	名古屋	教員	訓覇法子
日程	2006年12月9日～10日（土・日）		
場所	愛知県名古屋市（予定）※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします。		
テーマ	ライフサイクル上における社会的事故と生活保障システム～日瑞比較～ ※「福祉社会システム論」を修了または履修していること。		

科目名	総合セッションⅢD（ヘルスケアとライフマネジメント）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	高齢社会といっても、要介護高齢者は15%前後で、85%は健康な高齢者である。ここに巨大なシニア市場が開けている。そこで、シニアサービスの展開に必要とされるより専門的な知識及び技術を学ぶ。21世紀長寿社会の人口動向、それへ向けての高齢者福祉の動向、社会福祉の方法などの理論・制度の専門的知識が必要となる。要介護高齢者に対する介護福祉、援助技術に欠かせない高齢者の生理や心理、健康な高齢者の増加に対応して、健康と生涯スポーツ・生涯学習、シルバーファイナンスなどについて学ぶ。その際には、論文・新聞記事、ビデオ等による具体的事例を取り上げ、総合的なより深いものの見方の学習を行う。また、受講者各自が事例研究等の中間報告の発表を行うとともに、そこでの各発表に基づいたいくつかのテーマでのワークショップ（分散会）を組み合わせることにより、学生間の交流を更に深める。		
会場	東京	教員	田原孝
日程	2006年6月10日～11日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	線形・非線形理論とカオス・複雑系理論でヘルスケアとライフマネジメントを再構成する ※「医学概論」・「メンタルヘルスとライフサイクル」を修了または履修していること。		
会場	大阪	教員	小椋喜一郎
日程	2006年8月14日～15日（月・火）		
場所	大阪市北区中之島5-3-51（大阪国際会議場）		
テーマ	社会福祉の歴史		
会場	福岡	教員	安宅川佳之
日程	2006年10月7日～8日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	老後資産準備と社会保障		
会場	名古屋	教員	安宅川佳之
日程	2006年12月2日～3日（土・日）		
場所	愛知県名古屋市（予定）※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします。		
テーマ	老後資産準備と社会保障		

科目名	総合セッションⅣA（ビジネスマネジメント）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	これまでに学んできた経済や経営の知見をもとに、自分の関心や課題解決に結びつく事例を取り上げ、情報収集や調査を重ねて卒業研究にまとめ上げていく。さらに、新事業創出のビジネスプランづくりに取り組むよう指導する。そのために、ワークショップや報告会を開催し、そこでプレゼンテーションを行い相互に学び交流していく〈場〉づくりを進めていく。		
会場	東京	教員	安藤眞
日程	2006年7月8日～9日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	環境ビジネスの現状と将来展望		
会場	岡山	教員	丸山優
日程	2006年8月14日～15日（月・火）		
場所	岡山市駅元町14-1（岡山コンベンションセンター）		
テーマ	行政と市民と企業の「福祉ミックス」～年金・医療・社会福祉・住宅～		
会場	福岡	教員	竹下隆
日程	2006年10月7日～8日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	経営の安全力学と危機管理		
会場	名古屋	教員	安藤眞
日程	2006年12月2日～3日（土・日）		
場所	愛知県名古屋市（予定）※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします。		
テーマ	環境ビジネスの現状と将来展望		

科目名	総合セッションⅣB（コミュニティマネジメント・国際協力）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	この10年のあいだに、それぞれ固有の地域課題に取り組む地域住民が国境を越えて、それぞれの経験を共有しあい、互いに励ましあうといった動きが世界の各地で見られるようになっている。こうした地域住民によるグローバル・ネットワーキングを学ぶ。		
会場	東京	教員	野崎泰志
日程	2006年6月10日～11日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	NPO/NGOの評価－政策評価から事業評価まで		
会場	岡山	教員	斎藤千宏
日程	2006年8月10日～11日（木・金）		
場所	岡山市駅元町14-1（岡山コンベンションセンター）		
テーマ	文化・宗教と開発		
会場	福岡	教員	雨森孝悦
日程	2006年10月14日～15日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	NPOの組織運営		
会場	名古屋	教員	野崎泰志
日程	2006年11月4日～5日（土・日）		
場所	愛知県名古屋市（予定）※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします。		
テーマ	NPO/NGOの評価－政策評価から事業評価まで		

科目名	総合セッションⅣC（医療・福祉マネジメント）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	医療・福祉分野における営利・非営利組織のマネジメントの開発と新産業の創出をめざしたより専門的な講義を行う。介護保険の施行に伴い、様々な問題・課題が出ているので、病院や福祉施設の非営利組織の経営、介護ビジネスなどの営利組織の実現場面での経営および実際の事例を用いた比較研究を行なう。ならびに密接に関連する医療・福祉の諸制度、さらに、背景となっている現代福祉社会システムについて、担当教員の専門分野に引きつけたより深い専門的講義を行なう。同時並行して、事前に提出した課題を素材として、具体的な事例に則り講義を展開する。		
会場	東京	教員	田原孝
日程	2006年7月15日～16日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	医療・福祉領域におけるマネジメントを創る ※「医学概論」・「メンタルヘルスとライフサイクル」を修了または履修していること。		
会場	岡山	教員	田原孝
日程	2006年8月12日～13日（土・日）		
場所	岡山市駅元町14-1（岡山コンベンションセンター）		
テーマ	医療・福祉領域におけるマネジメントを創る ※「医学概論」・「メンタルヘルスとライフサイクル」を修了または履修していること。		
会場	福岡	教員	田原孝
日程	2006年10月28日～29日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	医療・福祉領域におけるマネジメントを創る ※「医学概論」・「メンタルヘルスとライフサイクル」を修了または履修していること。		
会場	名古屋	教員	田原孝
日程	2006年12月16日～17日（土・日）		
場所	愛知県名古屋市（予定）※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします。		
テーマ	医療・福祉領域におけるマネジメントを創る ※「医学概論」・「メンタルヘルスとライフサイクル」を修了または履修していること。		

科目名	総合セッションⅣD（ヘルスケアとライフマネジメント）	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	高齢社会といっても、要介護高齢者は15%前後で、85%は健康な高齢者である。要介護高齢者以上に健康な高齢者を支える様々な市場が拡大するだろう。要介護高齢者に対しても介護保険により巨大なシニア市場が形成される。そこで、シニア市場に事業展開している企業などの具体的事例を用いて、シニアサービスの展開に必要なとされるより専門的な知識及び技術を多様な視点から学ぶ。		
会場	東京	教員	田原孝
日程	2006年7月1日～2日（土・日）		
場所	東京都渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センター）		
テーマ	線形・非線形理論とカオス・複雑系理論でヘルスケアとライフマネジメントを再構成する ※「医学概論」・「メンタルヘルスとライフサイクル」を修了または履修していること。		
会場	岡山	教員	安宅川佳之
日程	2006年8月8日～9日（火・水）		
場所	岡山市駅元町14-1（岡山コンベンションセンター）		
テーマ	ヘルスケアビジネスの新展開		
会場	福岡	教員	山田栄子
日程	2006年9月2日～3日（土・日）		
場所	福岡市博多区吉塚本町9-15（福岡県中小企業振興センター）		
テーマ	福祉と情報技術		
会場	名古屋	教員	矢野和雄
日程	2006年12月9日～10日（土・日）		
場所	愛知県名古屋市（予定）※詳細が決まり次第、本学通信教育部ホームページでお知らせします。		
テーマ	社会福祉と権利擁護		

科目名	フォローアップセッションⅠ	科目群	共通基礎科目
単位数	1単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	具体的な課題、学習内容、学習方法など、学生が学習を勧めてきた中で阻害要因となっている諸課題について、教員および学生との討論や学生自身の自己分析などをつうじて明らかにしていき、以後の学習を積極的、効率的に行うための支援をめざす。		
会場	本学	教員	栗原英樹
日程	2006年10月21日（土）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		

科目名	フォローアップセッションⅡ	科目群	専門科目
単位数	1単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	具体的な課題、学習内容、学習方法など、学生が学習を勧めてきた中で阻害要因となっている諸課題について、教員および学生との討論や学生自身の自己分析などをつうじて明らかにしていき、以後の学習を積極的、効率的に行うための支援をめざす。		
会場	本学	教員	綾部誠
日程	2006年10月22日（日）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		

科目名	障害者スポーツ研究	科目群	共通基礎科目
単位数	1単位	科目の種類	スクーリング科目
概要	国内外の障害者スポーツに関する情報収集および障害者のスポーツの普及・振興を図るために、障害者スポーツの現状と課題を認識する。日本障害者スポーツ協会の基準プログラムに則した実技・演習を中心に実施する。なお、この資格の対応については本通信教育部が指導者資格取得認定校となっております。		
会場	本学	教員	松井健
日程	2006年11月4日（土）または2006年11月5日（日）		
場所	愛知県知多郡美浜町奥田（日本福祉大学 美浜キャンパス）		

※各科目の担当教員、概要、日程、テーマ等については変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(4) 事例研究科目

科目名	事例研究ⅠA	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
教員	高橋健	学年配当	1年
備考	「事例研究ⅠB」(スクーリング科目)の履修希望者は、必ずこの科目を履修してください。		
概要	<p>家族やボランティアグループ、NPO、学校、自治体などあらゆる組織を対象に、マネジメントをテーマとして取り上げ、事例研究に取り組む基礎的能力を養うことを目的とする。</p> <p>受講生には、副読本を通して、自らの問題意識を明確にし、適切な問題を設定すること(中間課題)、更にその方法や枠組みを、各自の研究課題に反映させることが要求される(期末課題)。</p> <p>副読本は、新田次郎「八甲田山死の彷徨」(新潮文庫)、塚屋太一「組織の盛衰」(PHP文庫)とし、テキストは、各自の研究テーマや内容を設定していくために、辞書的に用いる。</p>		

科目名	事例研究ⅠB	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
教員	高橋健	学年配当	1年
会場	名古屋	日程	2006年10月7日～8日(土・日)
場所	愛知県名古屋市中区千代田5-22-35(日本福祉大学 名古屋キャンパス)		
備考	この科目は、「事例研究ⅠA」の合格者および履修されている方が履修可能です。		
概要	<p>事業の計画や判断、意思決定など組織のマネジメントの課題について振り返り、マネジメントに必要な複眼的な分析、考察能力を養うことを目的とする。スクーリングでは、「マネジメントゲーム」(シミュレーション・ゲーム)を実施し、参加者間の体験の共有を通して、受講生が携わっている業務や組織にフィードバックできるようにする。</p> <p>同時に、ⅠAでの課題を踏まえ、受講生の研究に関わる組織に焦点を当て、実務と研究との橋渡しを行う。そのためにゼミ形式での討論を通して、各自の研究課題に取り組むベースを作る。</p>		

科目名	事例研究ⅡA	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
教員	高橋健	学年配当	1年
備考	「事例研究ⅡB」(スクーリング科目)の履修希望者は、必ずこの科目を履修してください。この科目は、「事例研究ⅠA」の合格者および履修されている方が履修可能です。		
概要	<p>マネジメントを組織内部の問題だけにとどめることなく、地域社会の様々な組織や集団の連携による問題解決として捉え、事例研究に反映させる方法を身につけることを目的とする。</p> <p>受講生は、組織や地域社会におけるフィールドワーク、調査のための基本的な姿勢や方法を整理し(中間課題)、各自の調査研究にいかに関与するかを考える(期末課題)。</p> <p>副読本として、佐野真一「宮本常一が見た日本」(日本放送出版協会)、佐藤郁哉「フィールドワーク」(新曜社)を用い、テキストは、各自の研究テーマに沿った調査活動を実施するために、辞書的に用いる。</p>		

科目名	事例研究ⅡB	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
教員	高橋健	学年配当	1年
会場	名古屋	日程	2006年10月21日～22日(土・日)
場所	愛知県名古屋市中区千代田5-22-35(日本福祉大学 名古屋キャンパス)		
備考	この科目は、「事例研究ⅠA」「事例研究ⅡA」(テキスト科目)、「事例研究ⅠB」(スクーリング科目)の合格者および履修されている方が履修可能です。		
概要	<p>地域社会の問題をどのように分析し、問題解決のためのアプローチを提案するか、その方法を習得することを目的とする。スクーリングでは、実際の地域社会を取り上げたシナリオを用い、参加型ワークショップ形式によって問題分析し、問題解決のための代替案を検討する。</p> <p>同時に、ⅡAでの課題を踏まえ、問題分析や解決のために必要なフィールドワーク、調査の方法と課題について議論し、各自の調査研究に活用させる。</p> <p>尚スクーリングは、上記のねらいを踏まえ、地域社会の実態を理解できるように、実在する町(フィールド)での開催を予定している。</p>		

科目名	事例研究ⅢA	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
教員	高橋健	学年配当	1年
備考	「事例研究ⅢB」（スクーリング科目）の履修希望者は、必ずこの科目を履修してください。この科目は、「事例研究ⅠA～ⅡA」（テキスト科目）の合格者および履修されている方が履修可能です。		
概要	事例研究のまとめ方とプレゼンテーションの方法について論ずる。 具体的には、文献の検索法や図表の書き方などの技法に加え、仮説に基づく演繹的実証、比較に基づく帰納的発見等々、論旨の展開の仕方と論文のまとめ方に焦点を当てた内容とする。また、いろいろなスタイルの報告書をプロトタイプとして提示し、論理構築に関する具体的な理解が得られるようにするとともに、受講生の研究内容に合った論文形式が選択できるよう配慮する。		

科目名	事例研究ⅢB	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
教員	高橋健	学年配当	1年
会場	名古屋	日程	2006年10月28日～29日（土・日）
場所	愛知県名古屋市中区千代田5-22-35（日本福祉大学 名古屋キャンパス）		
備考	「事例研究Ⅳ」（スクーリング科目）の履修希望者は必ずこの科目を履修してください。この科目は、「事例研究ⅠA～ⅢA」（テキスト科目）「事例研究ⅠB～ⅡB」（スクーリング科目）の合格者および履修されている方が履修可能です。		
概要	研究成果の評価と論文計画の作成を目的とする。受講生は、スクーリングに先だって、調査と分析の結果を図表に表すとともに、事例研究ⅢAで得た知識をもとに、論文の章立て案と要旨の第一原稿を提出することが要求される。開講初日のガイダンス以降は専攻分野に分かれ、研究結果を論文の章立てに従って口頭発表し、その論理構築と研究成果の意義について討議し、コメントを受ける。それをもとに、受講生は、閉講後の一定期間内に論文計画の最終案を提出する。		

科目名	事例研究Ⅳ	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
教員	高橋健	学年配当	1年
会場	名古屋	日程	2006年6月3日～4日（土・日）
場所	愛知県名古屋市中区千代田5-22-35（日本福祉大学 名古屋キャンパス）		
備考	この科目は「事例研究ⅠA」「事例研究ⅡA」「事例研究ⅢA」（テキスト科目）および「事例研究ⅠB」「事例研究ⅡB」「事例研究ⅢB」（スクーリング科目）の合格者および履修されている方が履修可能です。		
概要	事例研究成果をふまえた論文の完成を目的とする。受講生は、論文計画の最終案にもとづいて完成した論文原稿を、スクーリングに先立って提出する。開講初日のガイダンス以降は専攻分野に分かれ、解決すべき問題と研究課題、課題と研究内容、研究成果と実務性等々、論理の整合性と一貫性を討議し、論文完成のための指導を行う。また、事例研究発表に使う優秀な論文と重要な事例を選択する。		

科目名	事例研究発表	科目群	専門科目
単位数	2単位	科目の種類	スクーリング科目
教員	高橋健	学年配当	1年
備考	この科目の履修には、「事例研究Ⅳ」の単位修得の上、「事例研究発表」担当教員と「総合セッション各科目」担当教員により選出されることが必要です。		
概要	論文の発表と評価を目的とする。受講生は、事例研究Ⅳの指導にもとづいて完成した論文を、スクーリングに先だって提出するとともに、発表の準備をしておくことが要求される。発表に際し、受講生は、司会者、発表者、コメントターの役割を分担する。また、専攻分野別のワークショップにおいて、事例の比較検討、共通課題の抽出等を自主討議を通じて行う。講師は、以上の課題が適切に行われるよう指導する。		